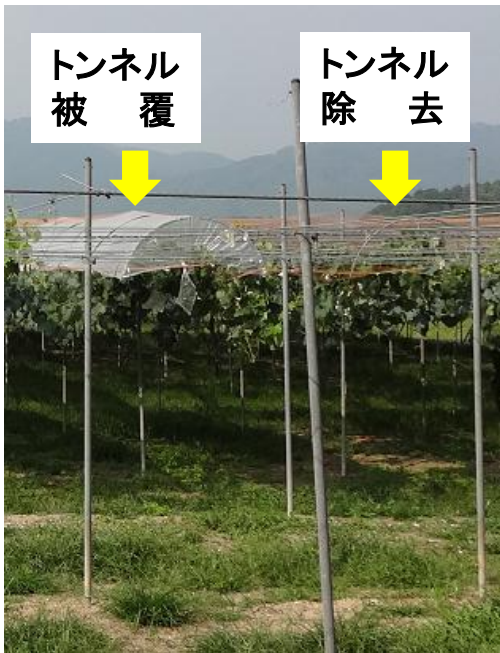
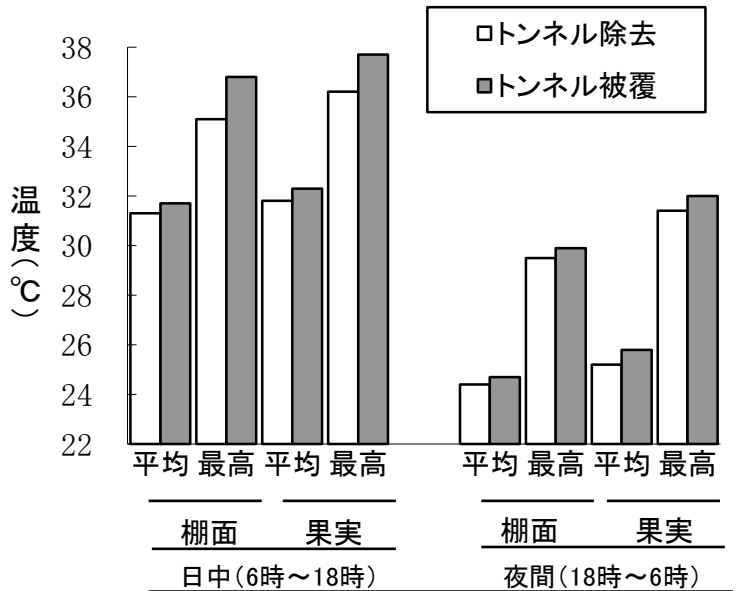


気象変動に対応した「ピオーネ」の 品質向上のためのトンネル除去



トンネル被覆を除去して
夏期の高温障害を軽減する



温度は2012年7月23日から8月26日の平均値

トンネルを除去すると棚面と果実の高温を防止できる

開発のねらい

近年、気象変動が大きく、「ピオーネ」のトンネル栽培では、夏期の異常高温により着色不良や果粒が軟らかくなるなどの果実品質が低下しやすくなっています。このため、品質安定対策としてトンネルの被覆除去の有効性を明らかにしました。

新技術の概要

- 果粒軟化直後の7月中旬にトンネルの被覆を取り除けば、棚面と果実の温度上昇を抑えられ、果実の着色と糖度が良くなり、果粒の軟化を防止できます。
- トンネルの被覆を除去した後は、鳥の食害を防止するために防鳥ネットの設置が望ましく、べと病やさび病の発生リスクが高まるので防除を徹底する必要があります。

活用場面

「くだもの王国おかやま」の主力品種である「ピオーネ」のトンネル栽培について、夏期の異常高温が原因である着色不良など、果実品質の低下を軽減できることから、県内生産者の経営安定やブランド強化に役立ちます。